

看護学科准教授

藤本 真記子
フジモト マキコ

新入生のみなさま、ご入学おめでとうございます。これからそれぞれの専門領域における考え方や、技術を身につける学習が始まります。どうぞ頑張ってください。

技術の習得は、模倣（真似）から始まります。そして繰り返し練習する中で、自分のものとなっていきます。真似する基となるのは、教員や先輩職員の動きになりますが、この動きを繰り返し確認できる（いわゆる動画）教材があると効果的ですよね。

看護学科1～2年生の技術習得科目「実践基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱ」では、この動画教材を用い、以下のような流れで学習します。

- ①事前学習（課題を調べ、DVDを視聴して、技術の流れやイメージを頭に入れる）
- ②講義やデモンストレーションで、事前学習や今回の学習内容を統合、定着させる
- ③学内演習（実施し、教員の助言をうけながら正しい方法を学ぶ）
- ④自己学習（繰り返し、身につける）

一般的には、市販のDVDなど外部で作成された映像教材を使用することが多いのですが、初めて学ぶ皆さんが、使用物品や環境の違いなどによって混乱しないよう、担当教員で独自の教材を作成しています。これがなかなか大変なのです。学んでほしい技術は山のようにあるのに、1本作るのに撮影だけで1日がかかり、その後ポイントを入れたりする編集作業もあります。

こうして作成したDVDは、練習しながらいつでも見られるよう実習室に置いてあるのですが、実習室が使用できない時間帯にも見たいという希望があったので、図書館にも置いていただくようになりました。授業前日や土曜などには、グループ学習室などを借りて、みんな活用してくれているようです。

図書館には他にも視聴覚教材がたくさん準備され、閲覧できるようになっています。授業の前だけでは無く、実習前に確認したり、市販のもので応用編も学べたりすると思います。どんどん活用してください（時に、私たち教員の努力も感じていただけると嬉しいです）。



〔撮影風景〕